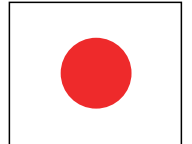


神・自然・人間は本来一体である “新しい文明”の基礎づくりを進めよう！



祝日は国旗を掲げましょう。

皇紀2680年
一長月一
9月号

発行所
生長の家 両丹道場
舞鶴市字北吸 497 番地
TEL (0773) 62-1443
FAX (0773) 63-7861
白鳩会 (0773) 63-5080
発行人 伊藤 夏樹
編集人 船木 悟

◎ “自然と共に伸びる運動”の実現のため、
“神においてすべて一体”の宗教心を多くの人に広げよう！
◎ 第一線の「誌友会・母親教室」を活発に開催して、壮年層会員の拡大と普及誌購読者・聖使命会員拡大の一年にしよう！



人はなぜ生きる (抜粋)

生長の家白鳩会総裁 谷口純子

生長の家では、人の命は永遠だと教えている。(中略) 肉体は、この地球という天体で生きるための“宇宙服”のようなものだから、この世の使命が終わればそれを脱ぎ捨てて、新たな次の境界へと移行すると教えている。そして、死はどんな形であろうとも――、突然の事故死のように不条理であっても、その人にとっては寿命である。残されたものは、悲しく恋しく、切なくても、その思いを感謝の心に変えていくことが必要だと、教えている。亡くなった肉親や親しい人との間には、楽しい思い出や、お世話になったことなど色々あるだろう。その思いを胸いっぱいにして、「ありがとうございました」と繰り返し心の中で言い続ける。(中略) ただ「ありがとう」と感謝の念だけを満たすように努めるのである。そうすると、悲しみや寂しさの思いはいつの間にか薄まり、亡くなった人がそばにいて、いつも見守り、支えてくれているという確信に変わっていく。さらに、「どうか次の境界で、素晴らしい魂の進化を遂げてください」と、亡くなった人を祝福、讃嘆するのがいい。このような気持ちになることで、未来がどんなに厳しく感じられても、それに立ち向かう勇氣も湧いてくる。感謝の気持ちは、このように人生を幸せにする力があるのである。

『“新しい文明”を築こう』中巻 実践篇「運動の具体的展開」一三三～一三四頁

今こそコロナからしっかり学びましょう

京都第二教区教化部長 伊藤 夏樹

新型コロナウイルスによる感染症拡大は今も世界各国で問題となっており、まだまだ収まりそうにありません。「これは新型コロナウイルスとの戦争だ！」テレビではこんな表現もありました。事態の原因を新型コロナウイルスとし、これを悪として滅ぼすべく戦う姿勢でいる向きもあります。が、それでは根本的解決につながりません。大切なのは、今回の事態を「コロナによる不幸な出来事」で終わらせることなく、ここから私たちは学ばなければならないということです。

私たちは今、新型コロナウイルス(COVID-19)による感染症の拡大によって、多くの重要な教育を受けていると感じます。これを生長の家では「観世音菩薩の教え」とも言いますね。(機関誌『生長の家』二〇二〇年五月号七頁)

そして、その教育の内容を確認するにあたって、まず最初に知っておくべきことは、新型コロナウイルスが敵視すべき「悪者」ではないということです。総裁・谷口雅宣先生ははっきり示されています。

感染症の原因は、ウイルスとか動物の側にあっては、人間の側にあります。(同書七頁)

住宅火災があった場合、悪いのは「火」そのものではなく、不始末をした「人間」の側に原因があるのと同様に、ウイルス感染も、悪いのは「コロナ」そのものでなく、「人間」の側に原因があるわけです。これは「大調和の神示」にも「黴菌や悪霊に冒されたりするのは汝が…」とあるように、天地一切との和解・万物大調和を説く生長の家の大切な考え方です。谷口雅春先生のご文章で確認します。

黴菌は人間を害するものではないのである。

(『新編 光明法語』一九二頁)

黴菌は何らかの益を動物に与えるために造られたものであるが、それが人間に害を与えるかの如くあらわれるのは、人間の自覚が「一」を失って自己分裂し「争闘」の世界観をもっているために、(中略) 反映して、人間と黴菌との戦いとなってあらわれるのである。(同書一九三頁)

生長の家の「コロナバスターズ」という言葉やロゴマークに、「生長の家はコロナを恐れて、敵と

「してきているのではないか？」と誤解した人がいます。しかし、総裁先生が提唱された「コロナバスターズ宣言」にはコロナウイルスを敵として認めるどころか、その四番目には「尊敬 (RESPECT) 私たちは、私たちの隣人―地球の全生物を含めたすべての仲間を尊敬します。」とあります。さらに、総裁先生は科学的な理由を示されたうえで、次のようにお示しくださっています。

今回の新型コロナウイルスの登場を「悪魔の仕業」だと「神の処罰」だなどと考えて恐怖し、あるいはウイルス全般に對して憎悪の感情を振り向けることは見当違いである（機関誌『生長の家』二〇二〇年七月号八〜九頁）

今回の感染症の原因はコロナの側でなく、人間の側にある。だからコロナを恐怖し敵視して戦う気持ちではない。この惨事を繰り返さないためにも「私たち人間の側の何が悪いのか」これについて、今しっかりと学ぶことがとても重要なのです。

そこで、機関誌『生長の家』二〇二〇年五・六・七月号の総裁先生の御文章をじっくり読んでいただきたいと思ひます。今回のコロナ感染症拡大から学ぶこと―具体的内容は別の機会に譲りますが、それは実は、総裁先生がコロナ以前からずっと私たちに指導くださってきたことだと気付くはず。そして、だから今回の事態を経験して、現代の世界にとって生長の家の教えが如何に重要なものであるかがよく納得できるはず。これを機に「生長の家は時代の要請に応えて大切なことを説き、本当に世界を救い得る素晴らしい宗教である」ことをしっかりと再確認しましょう。

〜青年会便り〜

青年会事務局長 渡利 あすか

「新しい文明の構築」

今、新聞や雑誌を開けば一言目には「新型コロナウイルス」の話題が上がります。仕事で読む機会の多い専門誌や経済誌には必ずその見出しが躍り、毎日毎週毎月のように不景気でマイナスな言葉ばかりを目にし、もううんざりといった気持ちになります。世界はこんなにもお先真っ暗なのかとどんよりしてしまいます。けれど本当にそれだけなのでしょうか。この混乱の中にあってもなんとか工夫をしようとする人々がいて、文明の機器を利用したりリモートでの仕事や交流が生まれたり、新しい価値観が育まれつつあります。生長の家が新しい文明を築こうとして取り組んでいることは、きっと今の世の中の役に立つことばかりです。この未曾有の事態の悪い面ばかりを見ず、これをきっかけとして新しい世の中を作っていけるよう、明るい未来に思いを馳せたいと思います。

私のエコ生活

職員 杉田 美千代

合掌、ありがとうございます。

今では頻繁に、TV、ネット等で紹介されるようになりましたが、私が初めてマイクロプラスチックの事を知ったのが、数年前、外国の大学教授等が「太平洋ゴミベルト」と呼ばれている海域でプラスチック調査をしているTV番組でした。何処から来てどの位の量があるのか把握できていないと知ってビックリし、心配になりました。

二〇一〇年までに世界中のプラスチックの生産量が、四倍になると予想される中、相変わらずお店では綺麗に包装された物で溢れている一方で、プラスチックに対して九割しかリサイクルされていません。こうした中、マイバックは常に携帯し、プラゴミを始めとする家庭ゴミをなるべく増やさない工夫する一方で、肉食を控えるなど、み教えから学んだことをできる限り実践していきたいと思ひます。

～ 地方講師会だより ～

合掌ありがとうございます。地方講師・光明実践委員の皆様には「自然と共に伸びる運動」の実現のためにご挺身いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

去る七月二十六日(日)、十時〜十時四十五分、ZOOM使用の研修会を開催致しました。参加者は二十九名でした。

今回は、インターネット環境が整っていない講師の皆様にも、こちらから出向き、会場を提供して頂き、三密に充分配慮してZOOMによる研修会が開催することが出来ました。皆様の感想は「新しい文明の基礎作り」の運動を進めていくことの大切さが、よく理解できましたと喜んでおられました。

九月度地方講師・光明実践委員ZOOM使用の研修会のご案内

日 時：令和二年九月二十日(日) 十時〜十時四十五分

テキスト：会員必携書『新しい文明を築こう』上巻 基礎編「運動の基礎」、『生長の家』機関誌当月号、普及誌三誌No. 127

※活動報告書は出講されていなくても、日常活動のどんなことでも記入欄に書いて頂き、ご提出ください。すようお願ひ致します。

新任講師：油利由美子氏、中村洋子氏



過日、生長の家公式サイトにて全国幹部研鑽会が中止の発表がありました。その対応として7月13日～7月31日までの間、生長の家総裁谷口雅宣先生、白鳩会総裁谷口純子先生の「急設スタジオ」のシリーズを再編集した動画が配信されたほかDVDでの販売もされました。

Studio Kyuset



9月度の対策部だより

普及誌購読者拡大

ありがとうございます。感染症の拡大が出来るだけ早期に終息することを願っているこの頃です。月刊誌の紹介をします。“地球を愛する心美人たちへ『白鳩』誌は生長の家の信仰に基づいたエコの視点から、環境に配慮した生き方やライフスタイルについても学ぶことができます。読み続けることで、本当の幸せを引き寄せる「心の習慣」が自然に身につきます”

誌友会等が出来なくても普及誌を愛読し、生長の家の真理に触れましょう。

*令和2年度の普及誌購読者拡大の目標は、1支部1名以上の新規購読者拡大です。よろしくお願ひ致します。

◇『いのちの環』No124, No125の俳壇のコーナーに、大槻紀子様のお句が掲載されております。

聖使命会員拡大

親愛なる聖使命菩薩の皆様いかがお過ごしですか？

「菩薩とは如何なる人々のことであるかと謂えば諸君のことである。自利のためのみに生活せず利他のために真理をふかく研究し、自己の魂を向上せしめると共に、その真理をもって多くの他の人々の魂の向上に貢献し、幸福を施してやまざる如き人々である。』『菩薩は何を為すべきか』はしがき

「私達の寄付金や献金は、(中略)純粋な菩薩行であり1人でも多くの人々を救いたいという慈悲の発露でありますから、そこに自らその功德はあまねくゆきわたらざるところなく、一門家族の悪業すらも光に遭うた暗闇のように消滅してしまふのであります。」(同書128頁)

この厳しい時期だからこそお1人でも多くの方に入会して頂けますように、共に明るく進んで行きましょう！

支部・誌友会・会員

ありがとうございます。まだまだ続いておりますコロナ感染による自粛生活。誌友会が開催出来ない代わりに引き続きスマホ等を利用して頂いて会員様の交流をお願い致します。お電話でも・・・。

《うちんとこの誌友会》

ありがとうございます。西舞鶴総連八幡支部です。現在、誌友会は休止状態ですが、今まで通り地域の皆様の繋がりを大切にしてお世話活動をさせて頂きながら生長の家のみ教えの素晴らしさを一緒に共有して行きたいと思ひます。

今後は、オンラインなど新しいライフスタイルを实践し、環境に配慮した方法で誌友会が開催されます事を願っております。

令和2年9月度行事予定

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	曜
(白) 組織指導WEB (10時) (白) 正副会長会議 (午後)			(相) 正副・地区連会長会議【オンライン】 (10時)		五者会議 (10時)	〔道場休館日〕							〔道場休館日〕	(教区) 献労の日	聖使命感謝奉納祭 ISO消火・避難訓練 (10時)	本部・教化部行事
																教化部長
河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	早朝行事担当

☆五者会議及び各組織の会議・研修会はオンラインを予定しております。
また、先祖供養祭、住吉神社月次祭はフェイスブックで会員へライブ動画を配信しておりますので活用ください。

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	日
水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	曜
		(白) 総連会長・対策部長担当会議 (10時)			内部監査研修会	〔道場休館日〕	秋季慰霊祭・先祖供養祭 (10時) 五者と職員のみによる開催【オンライン】	● 秋分の日〔道場休館日〕 布教功労物故者追悼慰霊祭 (本部)	● 敬老の日〔道場休館日〕	(講) 地方講師・光実一日研修会及び同 役員会・【オンライン】 (10時) 普及誌仕分け日		住吉神社月次祭 (10時) 五者と職員のみによる開催【オンライン】	〔道場休館日〕	本部・教化部行事
														教化部長
河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	休み	休み	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	早朝行事担当

- ☆献納ありがとうございます
・佐藤 たまゑ 5,000 円
- ☆生物多様性保全募金ありがとうございます
2,951 円
- ☆お賽銭ありがとうございます
71,055 円

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について
日本国内及び全世界ではいまだ感染者が後を絶たず、第二波の懸念が続く中、道場ではこれまで通り、感染予防対策を維持していく予定です。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。